

「南京戦・通州事件展示会」

南京戦はあったが

「南京虐殺(南京事件)」はなかった

ウソの政治プロパガンダに負けず、真実を訴えよう

展 示 会

入場無料!

※DVD上映あり

2023

2/12 (日) 11:00~18:00

13 (月) 9:00~18:00

14 (火) 9:00~16:00

文京シビックセンター1F 展示室1-B室
東京都文京区春日1-16-21

交通機関

東京メトロ後楽園駅 丸ノ内線・南北線 (5番出口) 徒歩1分
都営地下鉄春日駅 三田線・大江戸線

(文京シビックセンター連絡口) 徒歩1分

JR総武線水道橋駅 (東口) 徒歩9分

陥落の日

昭和12(1937)年12月13日

当時の新聞報道に見る南京

南京戦を戦った日本軍将兵は「南京虐殺」を行ったとして、いわれのない濡れ衣を着せられてきました。この展示会であなたは「南京虐殺」が全くの「デマ宣伝」であったことを知るでしょう。



12月17日 日本軍歓迎の万歳をする中国人

皆さまのご来場、お待ちしております。

主催 「南京戦・通州事件展示会」 実行委員会 TEL 03-6912-0047

新しい歴史教科書をつくる会、(同)東京支部、(同)千葉県支部、(同)三多摩支部、(同)埼玉県支部、(同)神奈川県支部、南京戦の真実を追求する会、「南京の真実」国民運動、史実を世界に発信する会、アジア民主化運動、国際歴史論戦研究所 協賛 「慰安婦の真実」国民運動、近代史検証会、通州事件アーカイブズ設立基金、東京郷友連盟、「真実の種」を育てる会、文京区の学校教育を考える会、正しい歴史を伝える会、集広舎、チベット問題を考える会、英霊の名誉を守り顕彰する会、日本国民の人権環境を守る葛飾区民の会、国際問題研究所、今さら聞けない皇室研究会、日本の明日を考える会 以上25団体 (順不同)

新聞報道に見る陥落後の南京の様子



12月20日 日本兵から菓子をもらい喜ぶ家族



12月20日 子供達と遊ぶ日本兵

あなたは「通州事件」をご存知ですか？

昭和12（1937）年7月29日に、北京の東20キロの通州という城塞都市に居留民として住んでいた日本人（女性子供を含む）225人が中国人部隊（保安隊）によって惨殺されました。生きたまま四肢を切断するなど、その殺害方法は残虐極まりないものでした。

「通州」は「文京区」の友好都市です

【北平本社特電】廿日發 通州に兵變起るや遼早く通州を脱出して北平滞在中の某要職府外交委員王潤貞氏に急を齎した張仁壽氏は廿日午後四時今井武官を訪れ通州兵變事變を報告した張氏の話によれば冀東政府保安隊長張慶余が潜入した廿九軍敗残兵の煽動に乗ぜられ俄かに反亂を起し政府を襲つたもので政府要人は一時難をのがれたが大部分が殺害され、官協經濟顧問、特務機關本中佐も生死不明である、なほ日本居留民は約三百名で大部分は通州の日本旅館近水樓に避難したが、これまた襲撃され大部分は殺害されたものらしくその他半島同胞約二百名の安否も氣遣はれてゐる

通州で邦人避難民
三百名殆んど虐殺さる
半島同胞二百名も氣遣はる

通州事件を取りあげた教科書は自由社「新しい歴史教科書」だけです。
【北京東方の城壁都市・通州には親日的な地方政権がありました。1937(昭和12)年7月29日、日本の駐屯軍不在の間に、その政権の中国人部隊(保安隊)が反亂を起こしました。…… 何の罪もない日本人居住民を、残虐な方法で殺害しました。日本人居留民421人のうち子供や女性を含む225人が犠牲となりました(通州事件)】



■昭和12年7月30日 号外
読売新聞(二面)
在留邦人多数遭難か
兵變で安否氣遣はる

■昭和12年7月31日 号外
東京日日新聞(一面)
惨たる通州叛亂の真相
鬼畜も及ばぬ残虐
眼前で村尾大尉殺害
虎口を脱した夫人語る

